

事業名		河川		路河川名等		(一)上川				
事業毎の通番		1	市町村名	諏訪市	箇所名(ふりがな)		上川(かみがわ)			
事業の位置づけ	県総合5か年計画における位置づけ	1-2 ① 災害に強い県づくりの推進			SDGsの関連目標					
	関連する計画や重点施策	一級河川天竜川水系諏訪圏域河川整備計画(令和3年2月19日認可)			関連する事業プロジェクト					
	現状と課題	平成18年7月豪雨では岡谷市や諏訪市で激甚な災害が発生し、上川では氾濫危険水位(Lv.4)を超過し、危険な状態であった。また、近年は洪水の頻発化に伴い、氾濫注意水位(Lv.2)を超過する回数が増加している。既存堤防の一部は、必要な堤防幅が確保されていないため、洪水や雨水の浸透による堤防欠損が懸念され、甚大な浸水被害となる可能性も高い。このような状況から、早期に河川改修を行い治水安全度を向上させる必要がある。								
	事業目的	下流より段階的に河川改修を行い、流域沿川住民の生命・財産の安全を確保する(計画高水流量1,130m <sup>3</sup> /s)								
着手年度	2025年度(令和7年度)		事業期間	10年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)				
完了年度(予定)	2034年度(令和16年度)					国庫	その他	県債	一般財源	
全体事業内容	・河川改修 L=1,100m (高水敷・低水路部掘削、堤防嵩上げ、右岸引提) ・橋梁架け替え N=2橋(六斗橋、渋崎橋)				3,000,000	1,500,000		1,350,000	150,000	
事業概要	位置図									
	凡例	R7~R16  R17~								
	全景									
	標準横断面図	左岸 嵩上げ 河川管理用道路設置 右岸 引き提・嵩上げ 計画堤防高 H.W.L. 高水敷・低水路掘削								
事業効果	主な受益対象	周辺家屋 1000戸 対象農地 23ha 想定氾濫区域内の公共施設 2施設								
	期待される効果	流下能力、治水安全度の向上 流域沿川住民の生命・財産の安全を確保				費用便益比(B/C) ※B=便益、C=費用		4.0		
	人口減少を踏まえた将来の活用見込み	上川沿川は諏訪市の立地適正化計画において居住誘導区域に指定されており、将来的に活用が見込まれるため、安全性を向上させ、安全な居住環境を構築する。								
計画熟度	地域からの要望経緯及び地域の関わり	・豪雨等、出水の度に上昇する水位に対し、越水の不安が高まっていることから、諏訪市から強い要望がある。 ・上川河川整備促進連絡会(今後上川整備期成同盟会に移行予定)から要望がある。								
	事業説明等の経緯	・令和5年7月 諏訪市長説明 ・令和6年3月 上川河川整備促進連絡会総会にて概要説明								
評価結果	建設部公共事業評価委員会の意見	諏訪市では、平成18年7月豪雨により広範囲で浸水被害が生じている。また、令和元年、令和3年も上川を含む諏訪湖に流入する河川で水位が上昇したため、内水による浸水被害が発生した。当該箇所は、築堤整備を計画しており、仮に破堤した場合、浸水範囲には住宅が密集していることや諏訪合庁等の重要施設があることから、整備効果は高く事業着手が妥当であると判断する。						妥当性評価※	優先度評価※	
	長野県公共事業評価委員会の意見	建設部公共事業評価委員会の意見を妥当と判断する。						○	4.8	
	県の評価案	事業着手	評価監視委員会意見	県の評価案が妥当	評価の決定	事業着手				

※【妥当性評価】事業実施の妥当性を「○」「×」で判定 ※【優先度評価】事業着手の優先度を5点満点で評価(数字が大きいほど優先度が高い)